

みらい家電応援

—環境や、人に優しい家電の普及促進—



節電商品の普及促進

電気使用量の削減に貢献する省エネ性能の高い商品を推奨販売しています。店頭のお知らせで10年前の商品との電気使用量の比較をお客様に分かりやすくご案内しています。



10年前の商品と電気使用量を比較した店頭告知物

節水に繋がる商品の普及促進

店頭のお知らせを通じて、食器洗い乾燥機やシャワーヘッドなど水使用量の削減に貢献する商品の普及促進に取り組んでいます。



節水効果を分かりやすく表示した展示

ライフスタイル、ライフサイクルに合った家電の紹介

食べられずに捨てられている食品や料理などのフードロスの削減に繋がる商品や、忙しくても手軽に美味しい料理が作れる便利なキッチン家電の提案を行っています。



IoT家電による豊かな生活の提案

IoT家電やスマート家電を使用例と合わせて紹介することで、より便利で豊かな生活をお客様に提案しています。また「聞きやすいスピーカー」など高齢者や障がい者に配慮した家電の提案も行っています。

女性従業員による提案活動

女性販売員の組織である「Smile」のメンバーが中心となり、女性ならではの視点でお客様に最適な商品の提案販売を行っています。既にクリーナーやテレビなど幅広い商品に関するイベントを開催しています。



Smileメンバー

環境に優しく便利で
楽しい「みらい家電」が
多くの人々に届くように、
家電を作る人・使う人を
応援していきます。



住設事業責任者インタビュー

再生可能エネルギー関連商品の拡販に向けて

Q1.再生可能エネルギー関連商品の品ぞろえやサービスの提供についてのお考え、方針を聞かせてください。

再生可能エネルギー事業においては、太陽光発電/蓄電池、V2H等の電気自動車充電設備に対する知識を持つ人材の育成に力を入れています。

再生可能エネルギー関連商品の販売から、節電対策・環境対策・防災対策といった、安心・安全に繋がる提案を行う組織を目指し取り組んでいます。

50人配置していた専任の担当者は、更に100人規模へと拡大を進め、事業活動を強化していきます。

他業種の企業様と協力し、EV試乗イベントの開催など、より多くのお客様へ再生可能エネルギー関連商品の提案を広げていきます。

また、当社従業員の知識向上のため、再生可能エネルギー関連商品の研修をより強化していきます。



住設事業部長
佐藤 正和

Q2.再生可能エネルギー商材の店頭PRではどのようなことに拘りましたか。

再生可能エネルギー部門の強化を図る中で、店舗担当者が、お客様にしっかりとご案内するため、一目見て分かるような打ち出し方に拘っています。コジマ×ビックカメラ 新座店では、電気代の削減金額や、家庭のエネルギーの見える化を行い、紹介しています。お客様のお住まいの近くに店舗を構える家電量販店という身近な存在であることを活かし、気軽にご相談いただきやすい環境を整えていきます。

Q3.今後力を入れていく分野について教えてください。

再生エネルギー事業に加え、各種リフォームの強化を行っていきます。中古住宅市場の拡大に伴い、大規模修繕から、塗装・水まわりといった部分的なリフォームまで需要が伸びると期待しています。外壁塗装では断熱効果のある塗料、水まわりリフォームでは最新設備による快適な生活を提案していきます。

また、エコキュートやガス給湯器の性能が向上していることから、買い替えの際により高効率な商品をお勧めし、環境にも家計にも優しい商品の普及に努めていきたいと考えています。



相談カウンター



スマートハウス提案

リサイクル応援



—循環型社会を目指した資源活用・再利用の推進—

レジ袋の削減

プラスチック使用量の削減に向けて、2022年4月よりレジ袋の有料化を実施しました。

2022年9月現在、前年比で70%の削減効果が表れています(前年同時期のレジ袋発注量からの推計)。



レジ袋有料化告知広告

大型家電下取りサービス

「大型家電下取りサービス」を通じて、お客様からまだ使えるテレビ、冷蔵庫、洗濯機を下取りしています(対象商品には条件があります)。お預かりした商品は協力会社により清掃が行われ、使用可能な場合は再商品化されます。ビックカメラグループ内で連携を図り、当社の店舗展開全エリアを対象を拡大しました。



店舗告知POP



協力会社での再商品化

発泡スチロールの再資源化

2021年4月より、限りある資源の活用、CO₂排出量の削減に取り組むため、発泡スチロールの排出量が多い物流拠点に、小型減容機を導入しました。家電の梱包などに使われている発泡スチロールは、そのままの状態ではごみとして処理されます。

しかし、発泡スチロールを減容機でインゴット化することにより、ごみではなくリサイクル可能な資源に生まれ変わります。EPSインゴットとなった発泡スチロールは、資源として回収され、新たな発泡スチロールなどに再生されます。現在4拠点(2022年12月末現在)に発泡スチロール減容機を導入していますが、資源循環の更なる促進に向けて、今後拡大していく予定です。



物流拠点での減容作業



資源に生まれ変わったインゴット

限りある資源を大切にするため、まだ使える家電を再商品化したり、製品の梱包に使われている発泡スチロールをもう一度資源にしたり、ごみを減らす社会づくりに貢献していきます。



みらい応援店舗



—環境にも人にも優しく、暮らしのお役に立つ店舗の実現—

節電営業の取り組み

電気使用量の削減のために、最適なエアコンの温度運用を行う「デマンドコントローラー」を11店舗に導入しました(2022年11月末現在)。更に第61期は17店舗に追加導入予定です。また、店舗のエアコン室外機に外気熱を遮熱するネットを設置して冷暖房効率を高めています。既に42店舗(2022年12月末現在)に導入し、順次設置店舗を拡大する予定です。これらによって、お客様に快適な環境を提供しつつ節電に努めています。

更に、テレビコーナーやパソコンコーナー等でも節電に努めるなど、環境に配慮した店舗運営を行っています。



デマンドコントローラー



エアコン室外機の遮熱ネット



環境に優しく、困ったときに役に立つ、いろいろな人が使いやすいみらいのお店を目指して店舗を進化させていきます。



店舗設備の充実

新型コロナウイルス感染拡大を受けて、店舗の衛生環境向上のために、「自動お掃除ロボット」を大型店を中心とした24店舗に導入しました。ホコリ量の数値低減で着実に効果が表れています。ロボットに店舗オリジナルの装飾を施し、店内で

のチラシ配布にも活用しています。また、梶ヶ谷店、西東京店、いわき店、足立加平店では授乳室を、新座店、福島店ではパパママスペース(mamaro)を設置しました。



授乳室



パパママスペース(mamaro)



自動お掃除ロボット



お子様が楽しく遊べるキッズスペース

みんなのまち応援



—楽しく暮らしやすく活気あふれる地域社会づくりに貢献—

地域の活性化に繋がる活動の促進

店舗のエントランスでは、地産商品や障がいを持った方が作った物品を販売するイベントを実施しています。地域に密着し、地域の皆様が心温まる交流が持てる場を提供しています。

また、毎月第3水曜日の朝に店舗の外周の清掃活動を実施し、まちをきれいにする活動に協力しています。



障がいを持った方が作った物品販売イベント



清掃活動



地域課題の解決

高齢者の被害が社会問題となっている振り込め詐欺の防止に向けて、「防犯機能付き電話機」を売り場や店頭でのイベントで分かりやすく紹介しています。

新型コロナウイルスワクチン接種のご予約のお手伝いやマイナンバーカードサポートブースの設置など、自治体と連携をとりながら、地域のお客様のお困りごとにも対応しています。



迷惑電話防止イベント告知物



栃木県警察本部生活安全部の大貫良之部長(左)より「防犯機能付き電話機普及促進アドバイザー」の委嘱を受けました

地域スポーツ振興

当社の店舗がある地域において、野球やバスケットボール、サッカーなど様々なスポーツチームを支援し、熱い戦いをファンの皆様とともに応援しています。



包括連携等の協定を締結

2019年に静岡市と、2020年に栃木県とそれぞれ包括連携協定を締結し、地域の活性化に繋がる活動や持続可能な社会の実現に寄与する取り組みなど、様々な面でお互いのリソースを活用し、良きパートナーとして地域を盛り上げています。

2021年には足利市と「洪水発生時等における施設の提供に関する協定」を締結し、洪水発生時等にコジマ×ビックカメラ 足利店の2階の駐車場をご使用いただき、密を避け車で避難していただけるようになりました。

2022年には、栃木県、静岡市の物産を県外の店舗で販売する「栃木県フェア」(コジマ×ビックカメラ 大東店:大阪府大東市)、「しずおか市フェア2022」(コジマ×ビックカメラ 梶ヶ谷店:神奈川県川崎市)を開催し、お客様に他地域の魅力ある物産を紹介しました。

一方当社では、災害時における物品の自治体への優先販売についても栃木県と協定を締結するなど、地域の災害対策にも積極的に取り組んでいます。



足利市との協定の締結



栃木県フェアの告知物



しずおか市フェア2022

こども応援



—未来を担う子どもたちの様々なチャレンジを支援—

スポーツを通じた学びの場の提供

地域に密着した家電量販店として地域スポーツの振興に力を入れるとともに、未来を担う子どもたちに、スポーツを通じて喜びや達成感、仲間を大切にする気持ちなどを感じてもらうことで、成長する機会を創出しています。



第1回 ブレックスxコジマ バasketボール教室



福岡ソフトバンクホークス様にご協力をお願いいただいた野球・運動教室



栃木SCの選手によるトークショー

思考力を育む学びの場の提供

子どもたちに考える力を身に付けてもらうために、「プログラミング教室」を随時開催しています。2021年、埼玉県のお店では埼玉県誕生150周年を記念し、渋沢栄一にちなんだゲームを活用した教室を開催し、楽しみながらプログラミングを学んでもらいました。



プログラミング教室の様子

モノづくりを体験する機会の拡大

ミニ四駆を組み立て、それを走らせることで、モノづくりの難しさや完成させたときの喜びやワクワク感を体験できる「ミニ四駆体験会」を開催しています。



完成したミニ四駆は実際に走らせませす



一人ひとり丁寧に指導



ミニ四駆組み立て教室

「第2回 コジマxエスパルス Dream CUP in SDF静岡」を開催

2022年5月、「第2回 コジマxエスパルス Dream CUP in SDF静岡」を開催しました。

2回目となる今大会は、コジマがクラブパートナーとして応援している清水エスパルス様のご協力のもと、小学2年生を対象に、静岡県内の少年サッカーチームの3チームと、清水エスパルスのサッカースクール生の3チームの計6チームが総当たりで戦うものです。

試合中は、子どもたちの元気な掛け声とともに、保護者からの声援も会場に響き渡りました。

また、当日はスクールOBで地元の静岡県立駿河総合高等学校に通うボランティアサークルの方々にも大会運営のサポートに参加いただきました。



「福岡ソフトバンクホークス コジマ 野球・運動教室」を開催

2022年9月、コジマがオフィシャルスポンサーを務めている福岡ソフトバンクホークスの協力のもと、「福岡ソフトバンクホークス コジマ 野球・運動教室」を開催しました。

講師として、元福岡ソフトバンクホークス選手の松中信彦氏と、ホークスジュニアアカデミーから3名のコーチが参加し、子どもたちの指導にあたりました。

子どもたちは、最初は緊張している様子でしたが、練習が進むにつれ次第に笑顔も増え、分からないことがあると質問するなど積極的に取り組んでいました。

今回のイベントではキャンノン様にご協力いただき、カメラ体験会として、参加ご家族にデジタルミラーレス一眼カメラを貸し出し、撮った写真をその場でプリントアウトして気に入ったものをお持ち帰りいただけるサービスを実施。ご家族に好評でした。



子どもたちが
楽しく過ごせるお店づくりや、
夢の実現に向けた
チャレンジを
支援します。

働くなかま応援



—様々なメンバーがいきいきと働ける環境の整備—

健康経営の推進

当社は、社長をCWO(最高健康責任者)として健康に関する課題の改善を目指すとともに、店舗と本部の各部署に「健康経営推進担当者」を任命し、従業員が健康で働ける環境の整備に努めています。

そうした中で、従業員の健康を維持し、最大のパフォーマンスを発揮してもらうために、健康診断の受診徹底を進めており、2020年より高い一次検診受診率を保っています。検診の結果、再検査が必要な従業員にはフォローを行い、二次検診を勧めています。

当社では、健康経営の実践のため「健康アクションプログラム」を実施。健康を増進するための活動を推進しています。

2022年10月には管理職と店長、女性店長代理が参加し、

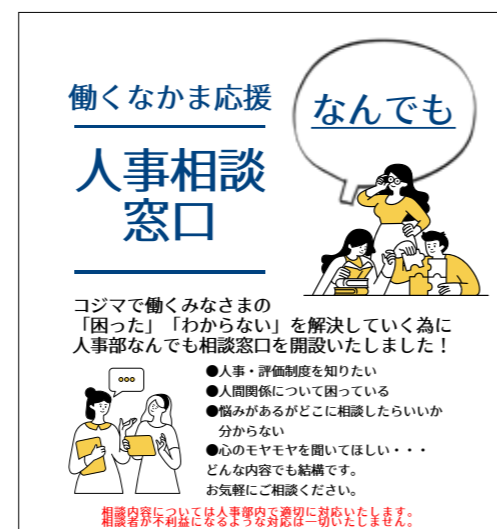


スマートフォンウォーキングアプリ

日々の歩数を計るウォーキングイベントとBMI改善プログラムを行うなど、従業員の健康をサポートする取り組みを実施しています。

心の健康づくりの推進

健康でいきいきと働ける職場環境の実現のために、自部署の強みを更に伸ばすための「職場改善ワークショップ」を開催しています。また、ハラスメントのない職場を守っていくために、管理職向けに定期的に研修を行っています。その一方でラインケア・ヘルスケア窓口から従業員が気軽に声をあげられるように、啓蒙ポスターを掲示しています。



教育制度の充実

当社では、健全で安定した職場環境の持続のために、従業員の定着率向上に取り組んでいます。各人が自身の持つ能力を活かし、継続してスキルを高めていけるように、店長や店長代理、主任など、それぞれの役職に必要とされる知識と行動を身に付けるための研修を行っています。また、お客様に最適な商品やサービスをご案内するために、家電製品アドバイザーをはじめとする各種資格の取得も積極的に推進しています。そうしたうえで、若手メンバーの管理職への積極登用も行っていきます。

このほか、エアコンの担当者向けに施工方法と工事の際の注意点などを実機を用いて学ぶ研修を行うなど、お客様へのヒアリング力や知識を高め、提案力の強化に努めています。



各店舗の店長研修



工事の手法や注意点も実機で学びます



働きやすい環境と制度の充実

当社は、労使共同による価値創造と制度構築の推進によって、働きやすい環境の整備に努めています。プラチナくるみん、健康経営優良法人の認定をはじめ、2022年6月には女性活躍推進の取り組み状況が優良な企業として、えるぼし認定(第2段階目)を取得しました。

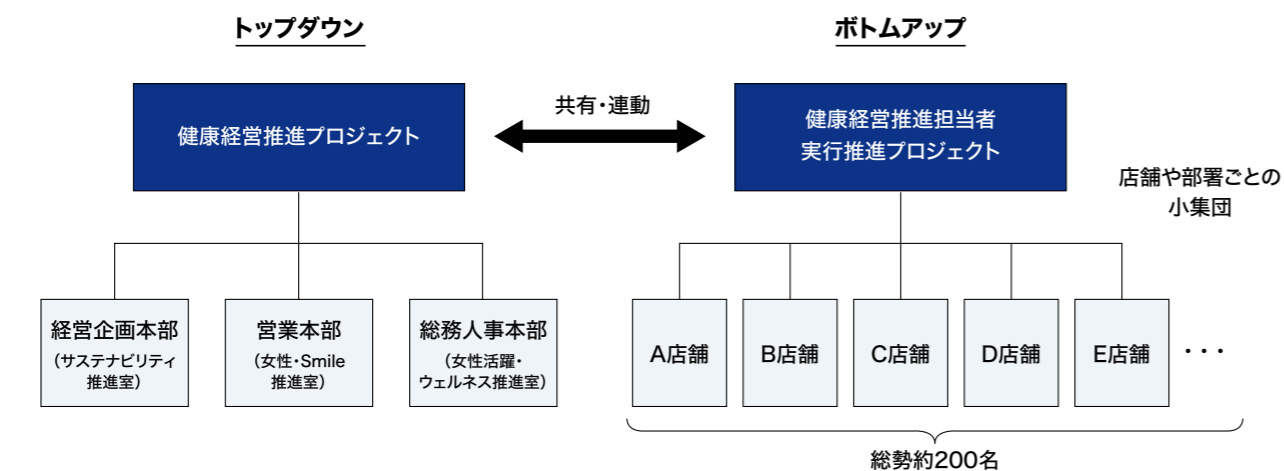


従業員向けに年1回「自己申告アンケート」を実施し、本人からの異動希望などを踏まえたうえで適材適所への配置転換を行っています。また、やりたい場所でやりたい仕事に就けるチャンスを積極的に与える「ポストチャレンジ制度」を導入しています。

育休、産休など、一時的に仕事から離れたあとで復帰することに不安がある従業員に対しては、スムーズに仕事に戻れるように経験者からアドバイスをもらえるワークショップを行っています。また、男性社員の育休取得について認知と理解向上を図り、介護・育児に関する相談窓口も設けています。



ワークショップZoom会議



女性活躍の推進について責任者インタビュー

女性・Smile推進室の方針と活躍について

Q1.女性・Smile推進室の活動方針と主な活動を教えてください。

第60期の9月に新設されました、女性・Smile推進室のもと、各店舗に在籍するスマイルメンバーが、「私自身が輝き、新しい切り口で暮らしを豊かにする」をコンセプトに、女性ならではの視点を活かし、実演による提案販売や、手書きPOPを活用した売り場提案・装飾、年3回の売り場コンテスト等を実施しています。

メンバーは習熟度により、自店舗で実演イベントが行えるよう他店舗に応援に行き活動を学ぶSmileネクスト、スーパーバイザーを目指しながらネクストの育成に携わるSmileトレーナー、ブロックを取りまとめた業績アップや育成を担うSmileスーパーバイザーと役割があります。地域により7ブロックに分かれており、ブロックごとに女性メンバーが主体となって活動を行っています。

メンバーは入社2年目の社員から、店長代理、出産・育児を経験しているメンバーまで幅広く、それぞれの経験値を活かして活動しています。

Q2.女性ならではの視点でお客様に最適な商品の提案販売を行うために、どのようなことに配慮し、どのような知見・スキルの向上に努めていますか。

主な活動として、体験・体感による店頭での実演イベントにおいて商品購入時のお客様満足度を高められるよう取り組んでおります。商品についての集合勉強会などを通じて、知識を習得し、販売トークを磨き、実演イベントを行っております。また、スマイルメンバー出演による商品説明動画をオリジナルで作成し、実際に商品を使って紹介することで、お客様の心に響く情緒的価値の提案を意識しています。

売場づくりにおいては、年3回行っている売り場コンテ



女性・Smile推進室長
落合 恵

ストで、どういう切り口で商品を提案すれば魅力を伝えられるか、商品を手にとっていただきやすいかなどを、それぞれのメンバーが、実際に販売に繋がるまでのストーリーを考え競い合っています。このほか、新店舗や改装店舗の売り場づくりのために、各地からメンバーが集まり、地域を超えてノウハウを共有し、交流を図るなど、お互いに力を出し合っ組織の活性化に繋がっています。

Q3.今後どのような活動にチャレンジしていきたいと考えていますか。

実演による提案販売や、手書きPOP作成を中心とした売り場づくりを行っていますので、今後は更に新しい内容に挑戦したいと考えています。ここ数年で若手女性メンバーが増えてきていますので、各々の感性をもっと活かし、Smile活動を浸透させ女性管理職を増やしていきたいと考えています。



女性活躍推進・ダイバーシティについて

Q1.中長期的視野に立った女性活躍推進・ダイバーシティについてのお考えや方針、目標を聞かせてください。

コジマで働くすべての仲間が楽しく、健康で、長くいきいきと活躍できるように、男女の区別なく、一人ひとりを尊重し合い、自分らしさを強みと言える職場風土を目指したいと思います。女性正社員比率が14.1%、女性管理職比率は3.8%と、まだまだ少数ではありますが、まずは10%を目指して、育成に取り組んでいきます。

Q2.女性活躍推進・ダイバーシティについての理解を深め、活動を広めていくには何が必要だと思いますか。

経営層の理解もあり、女性活躍推進を後押ししてくれる環境は整っていると感じています。自分たちの強みを正しく理解し、小さな成功体験を積み重ねながら自信を持って行動できるようになることが重要だと考えています。そういった女性が増えることによって活動が広がっていくことに繋がるのだと思います。

また、女性だけではなく男性のワークライフバランスを整えていくことも必要だと考えます。



女性活躍・ウェルネス推進室長
大野 幸恵

Q3.以上を踏まえて、できていること、できていないことをレビューいただけますか。

まだまだアンコンシャスバイアスがあるのが現状です。良かれと思った配慮も、個で見てもおらず、性別で判断していることも少なくありません。また、本人たちもそれを受け入れている現状があります。今後は、性別に関わらず、育成を行い公平性を持って評価してくれる環境や風土が必要だと感じています。

